

棚田に関する住民意識調査

結果報告書

令和 2 年 5 月

長門市 農林水産課

I 調査概要

(1) 調査目的

本調査は本市の棚田地域における地域住民の意識を客観的に把握・分析することにより、本市の棚田地域の振興に係る方向性を見出すための基礎資料とすることを目的とする。

(2) 調査対象

20歳以上（令和2年4月20日現在）の市民を対象とし、旧1市3町にて域配分したうえで、500人を無作為抽出

(3) 実施期間

令和2年5月1日（金）～令和2年5月15日（金）

(4) 配布・回収

郵送配布・郵送回収

(5) 調査内容

棚田の多面的機能の認知度、その重要性の認識度、棚田の維持・保全に対する意識、棚田の価値に対する認識、訪問や保全活動への参加意欲等

(6) 回収率

46.2%（有効回答231件／配布500件）

(7) 集計方法

各項目とも、単純に積み上げ集計

(8) 集計に当たっての留意点

ア 回答者数は、各設問（各区分）の有効回答者数。

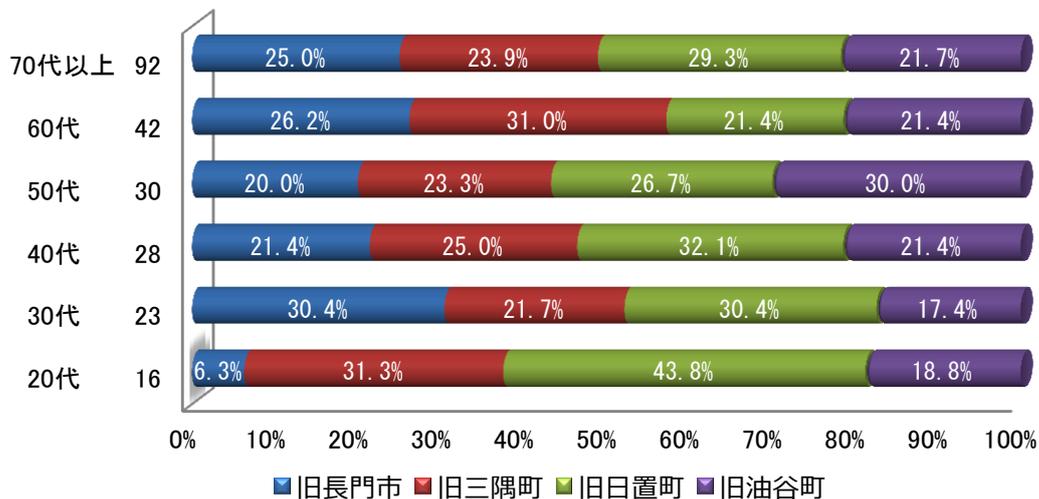
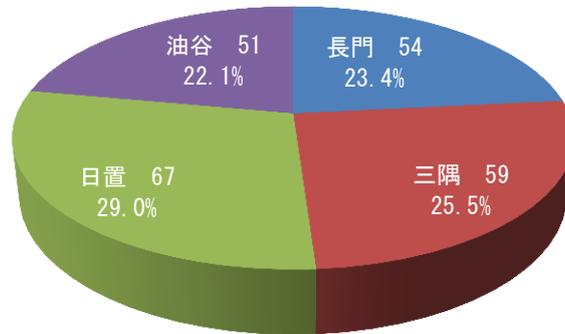
イ 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものであり、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合がある。

ウ 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示している。そのため、合計が100.0%を超える場合がある。

Ⅱ 調査結果

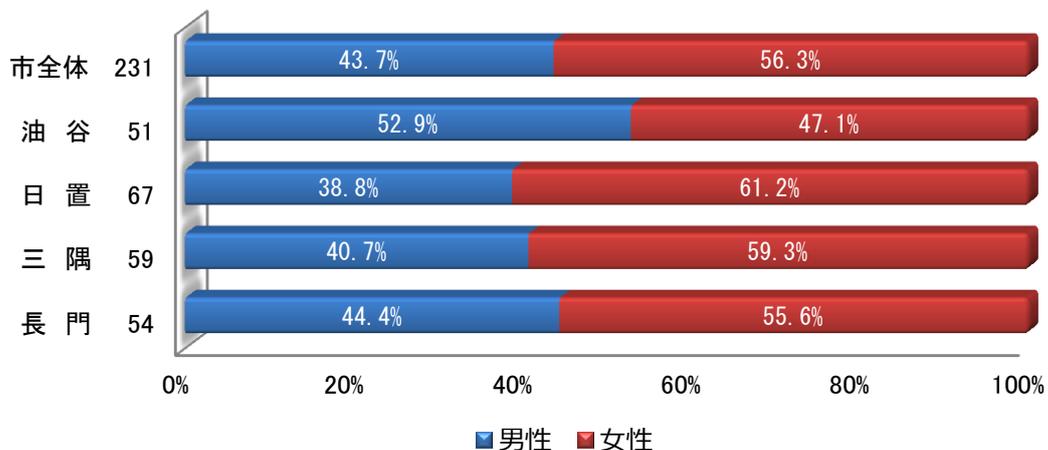
問1 あなたのお住まいの地域区分をお聞きします。あなたは、現在、どの地域にお住まいですか。該当する選択肢を1つ選択してください。

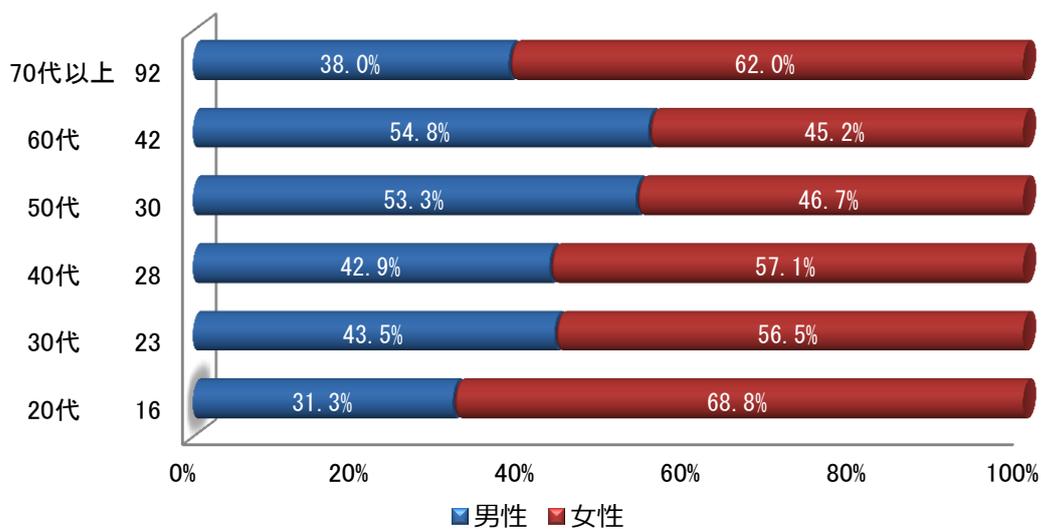
回答者の地域区分は、「旧長門市」が23.4%、「旧三隅町」が25.5%、「旧日置町」が29.0%、「旧油谷町」が22.1%であった。



問2 あなたの性別をお聞きします。該当する選択肢を1つ選択してください。

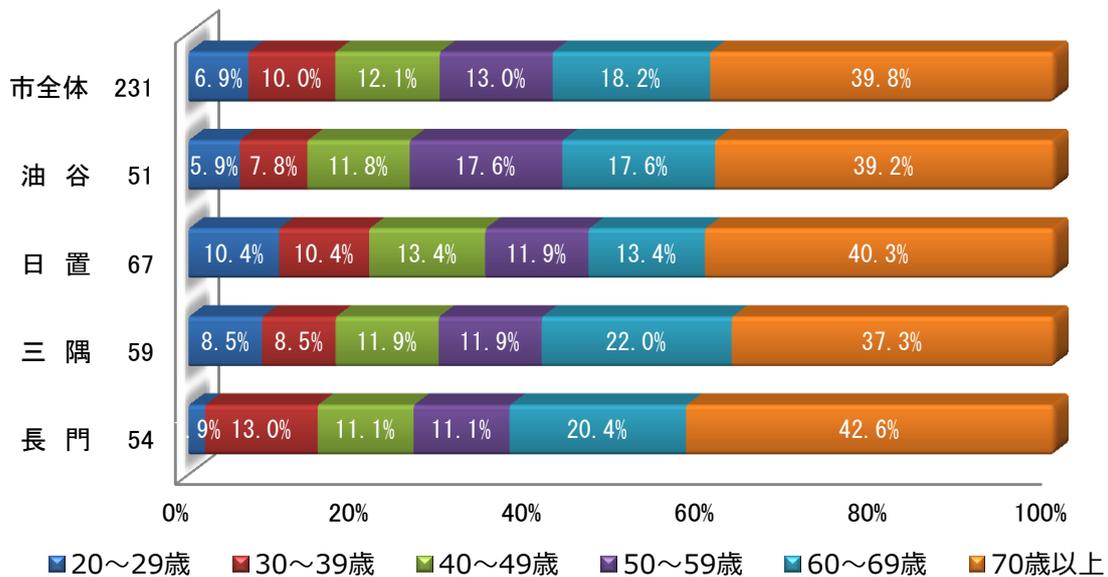
回答者の性別は、「男性」が43.7%、「女性」が56.3%となっており、旧油谷町のみ、男性の割合が女性の割合を上回っている。





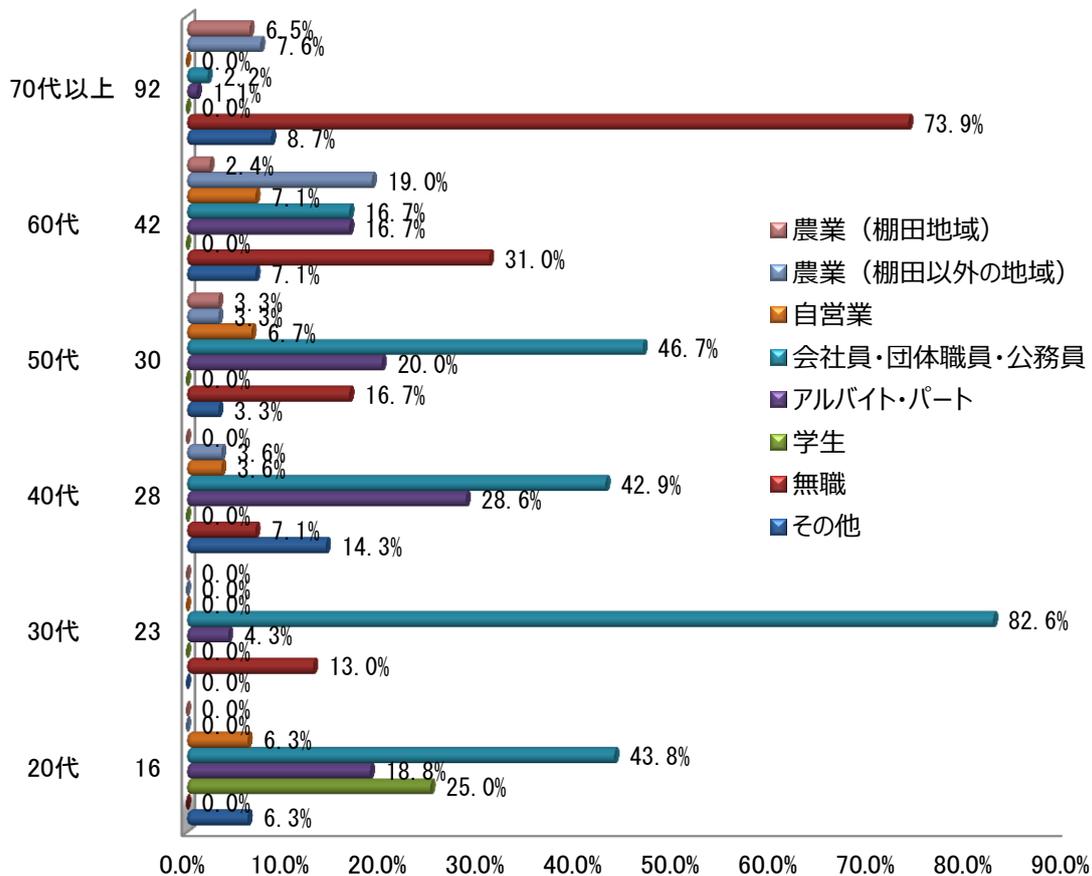
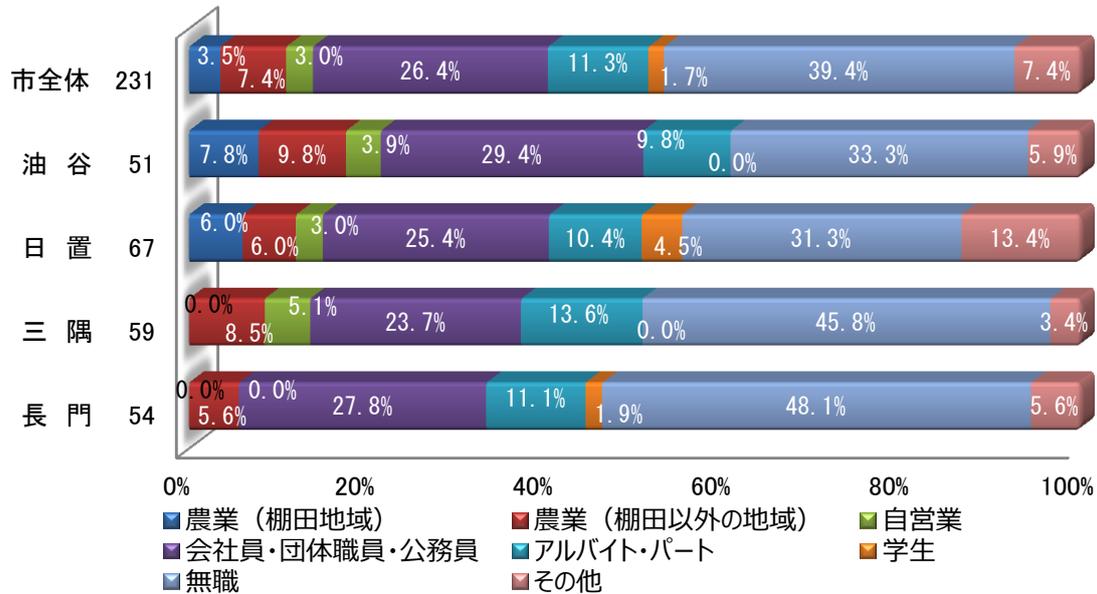
問3 あなたの年代をお聞きします。該当する選択肢を1つ選択してください。

回答者の年代は、70代以上が39.8%と最も高く、次いで60代（18.2%）、50代（13.0%）の順であった。年代が上がる毎に回答率が高い傾向にあった。



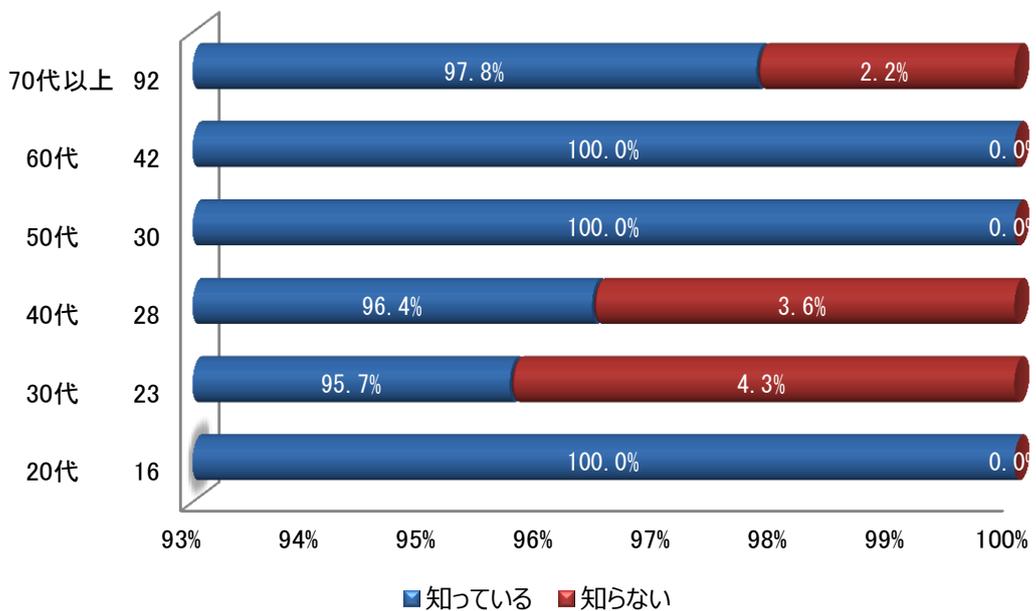
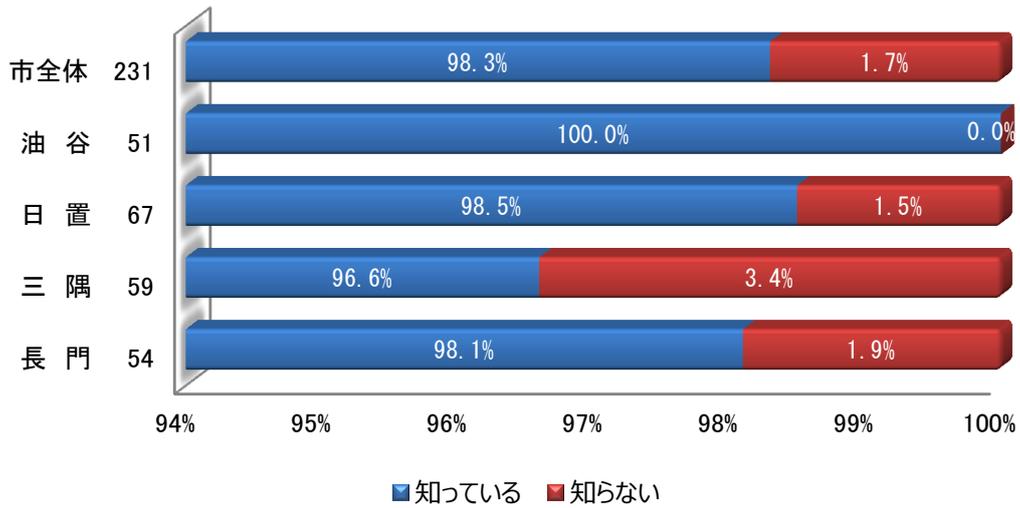
問4 あなたの主たる職業をお聞きします。該当する選択肢を1つ選択してください。

回答者の職業は、無職が 39.4%と最も高く、次いで会社員・団体職員・公務員 (26.4%)、アルバイト・パート (11.3%) の順であった。無職の割合は、先の高齢者の割合を反映している。



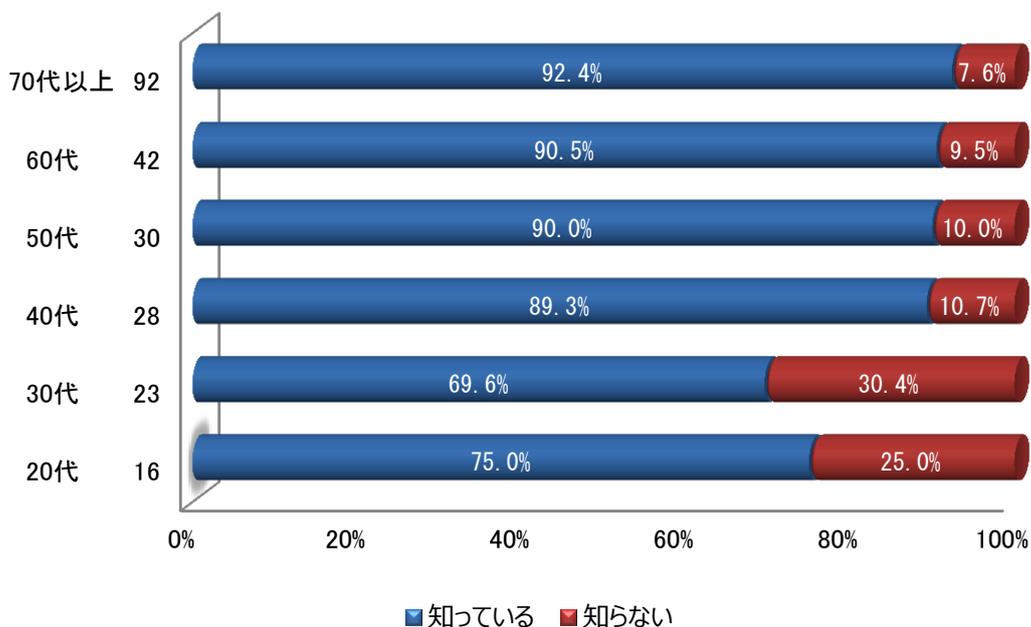
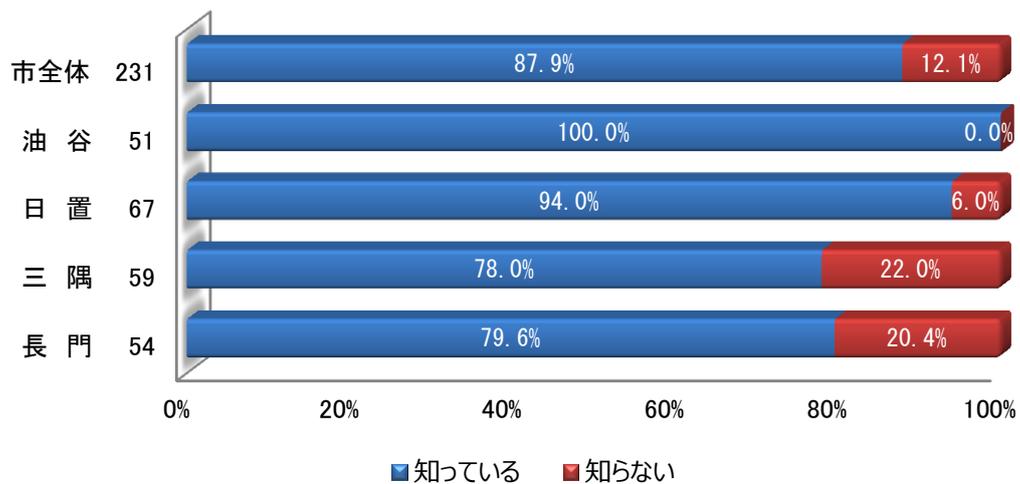
問5 段々状の田畑のことを「棚田」と呼ぶことを知っていますか。該当する選択肢を1つ選択してください。

段々状の田んぼを「棚田」と呼ぶことについて、「知っている」と回答した割合が98.3%、「知らない」は1.7%であった。令和元年10月に開催された第25回全国棚田（千枚田）サミットの効果により市内全域及び各年代に「棚田」が広く認知されたことが影響していると推察される。



問6 棚田は傾斜が急で田んぼ1枚1枚が小さいため農作業が大変で、さらに、農家の高齢化や過疎化により農業が続けられず、荒れつつあることを知っていますか。該当する選択肢を1つ選択してください。

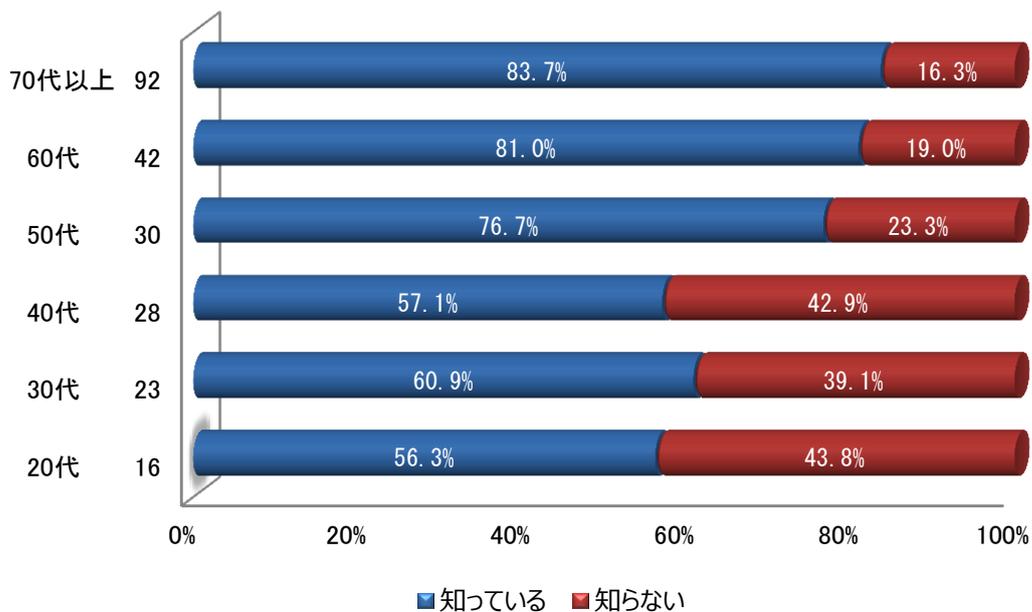
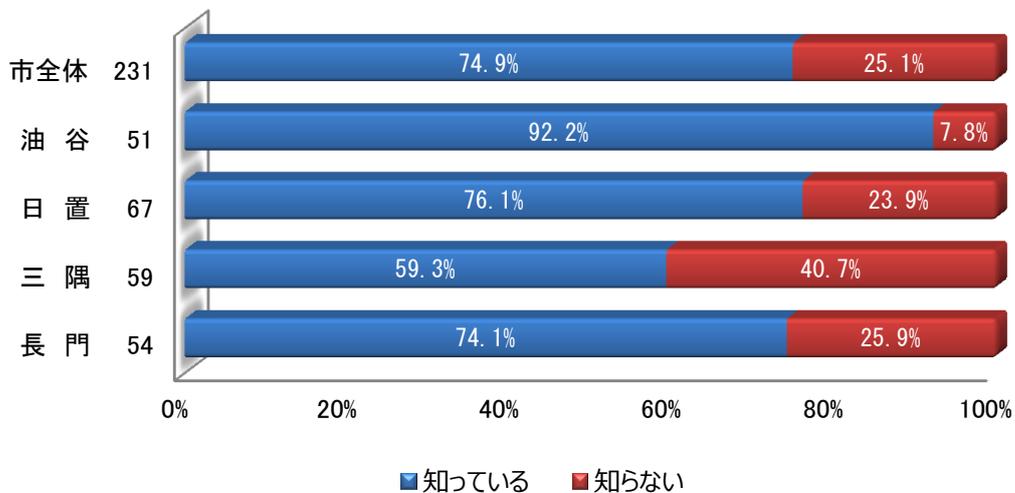
「棚田」が荒廃しつつあることについて、「知っている」と回答した割合が87.9%、「知らない」は12.1%であった。「知らない」と回答された割合が各年代に一定数あった。また「旧油谷町」では「知っている」と回答された割合が100%であった。市街地に近いほど「知らない」と回答された方が高い傾向にあった。



問7 棚田には食料を生産すること以外に、洪水の防止や自然環境の保全、良好な景観の形成などのさまざまな役割（多面的機能）があることを知っていますか。該当する選択肢を1つ選択してください。

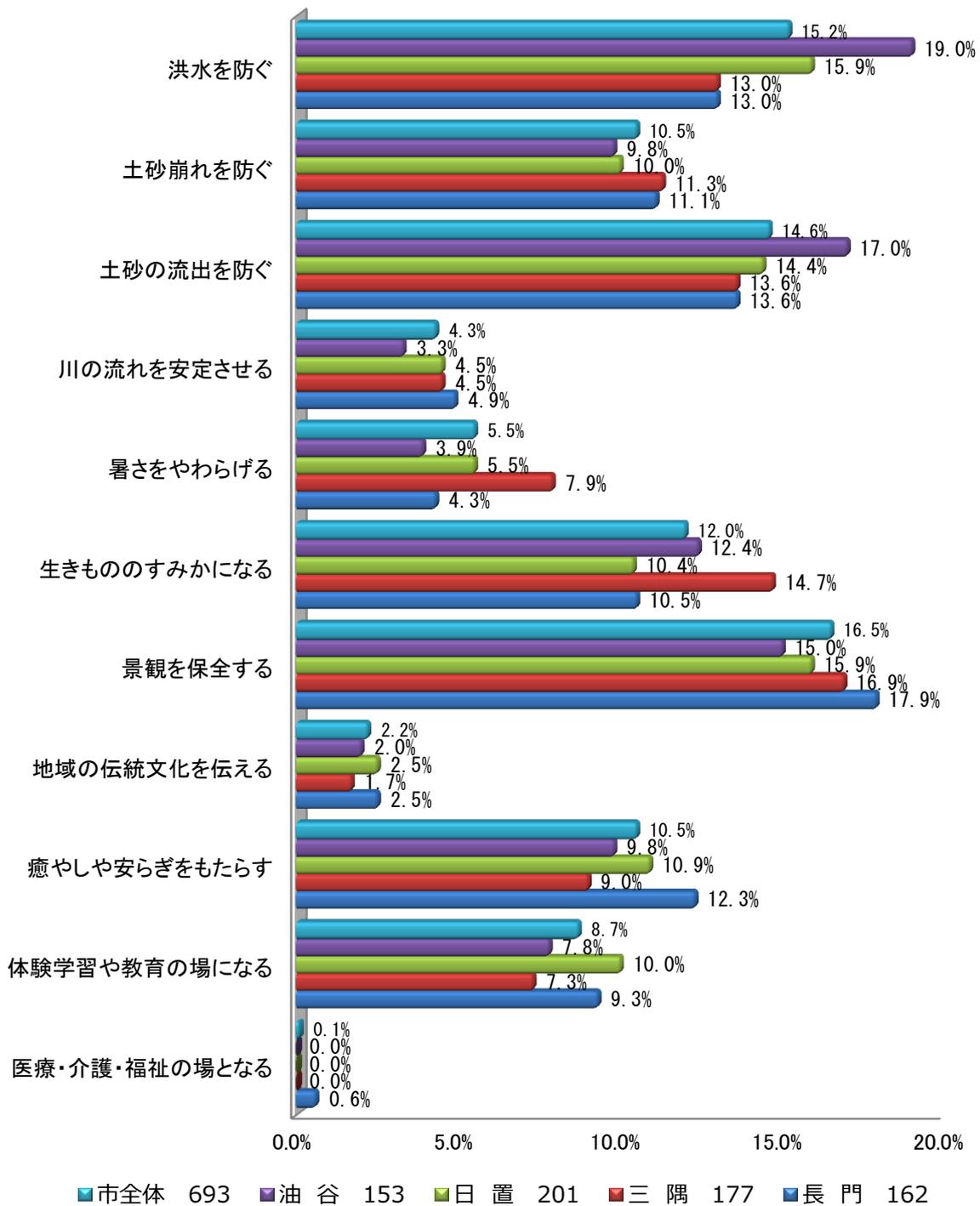
棚田には食料を生産すること以外に、洪水の防止や自然環境の保全、良好な景観の形成などのさまざまな役割があることについて、「知っている」と回答した割合が74.9%、「知らない」と回答した割合が25.1%であった。

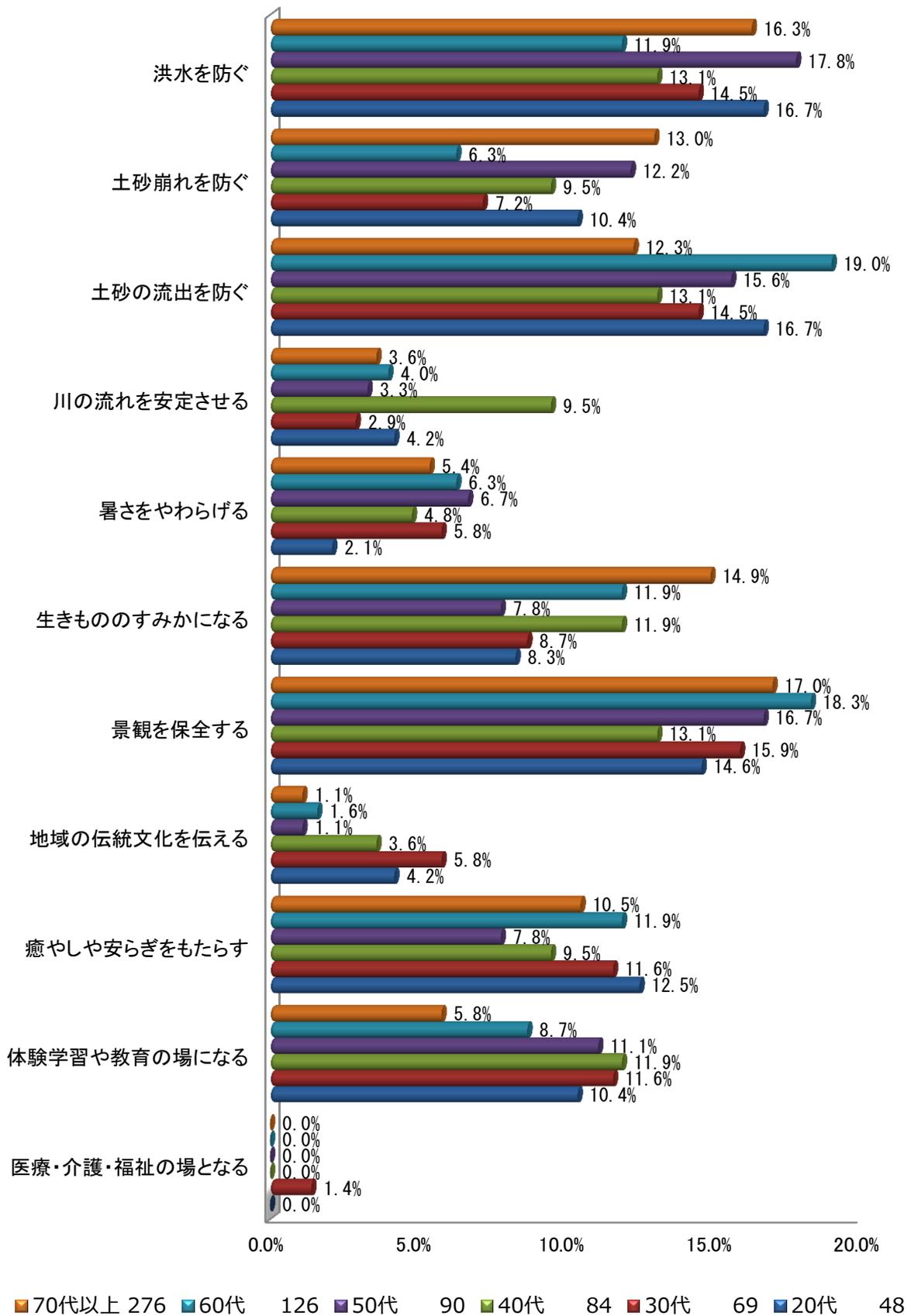
「知っている」と回答された方の内訳は、60代未満が35.8%、60代以上が64.2%であり、年齢と共に認知度が高い傾向にあった。



問8 棚田の有するさまざまな役割（多面的機能）の中で、特に重要だと思う役割は何だと思いますか。該当する選択肢を3つ選択してください。

農業・農村の有するさまざまな役割である多面的機能の中で、特に重要だと思う役割について、「農地や農作物などが美しい景観を保全する」と回答した割合が 16.5%と最も高く、次いで「雨水を一時的に貯めて洪水を防ぐ」（15.2%）であった。

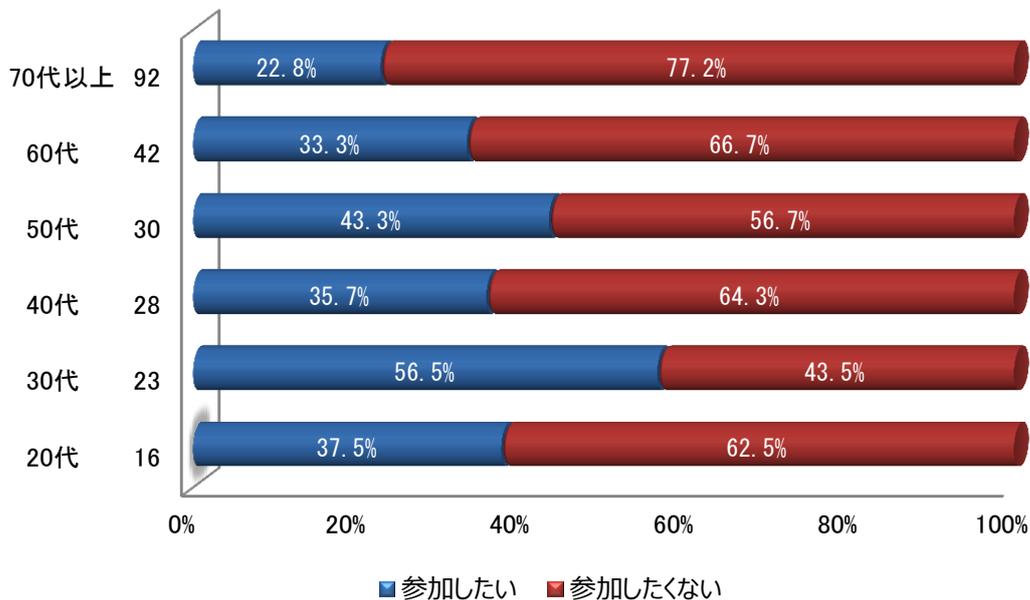
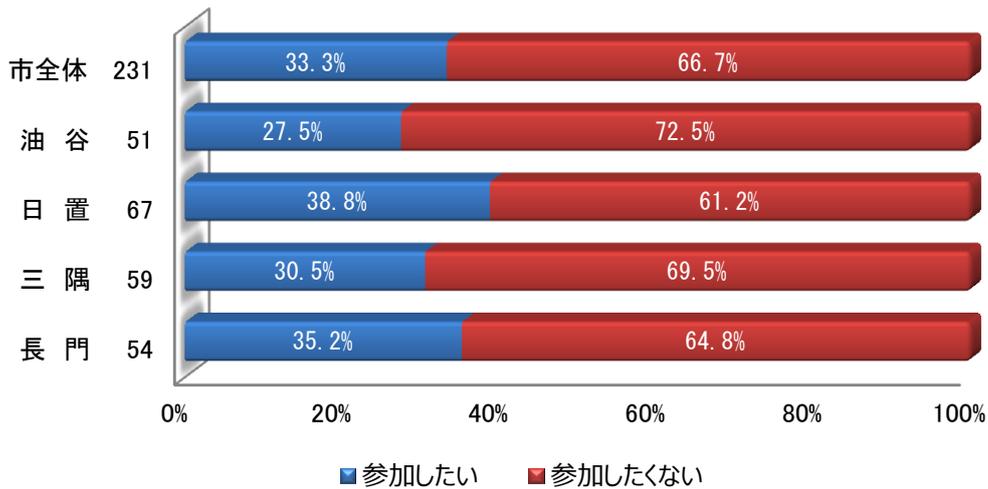




問9 棚田での農業体験、生きもの観察等多面的機能を体感できるイベントがあれば参加したいですか。該当する選択肢を1つ選択してください。

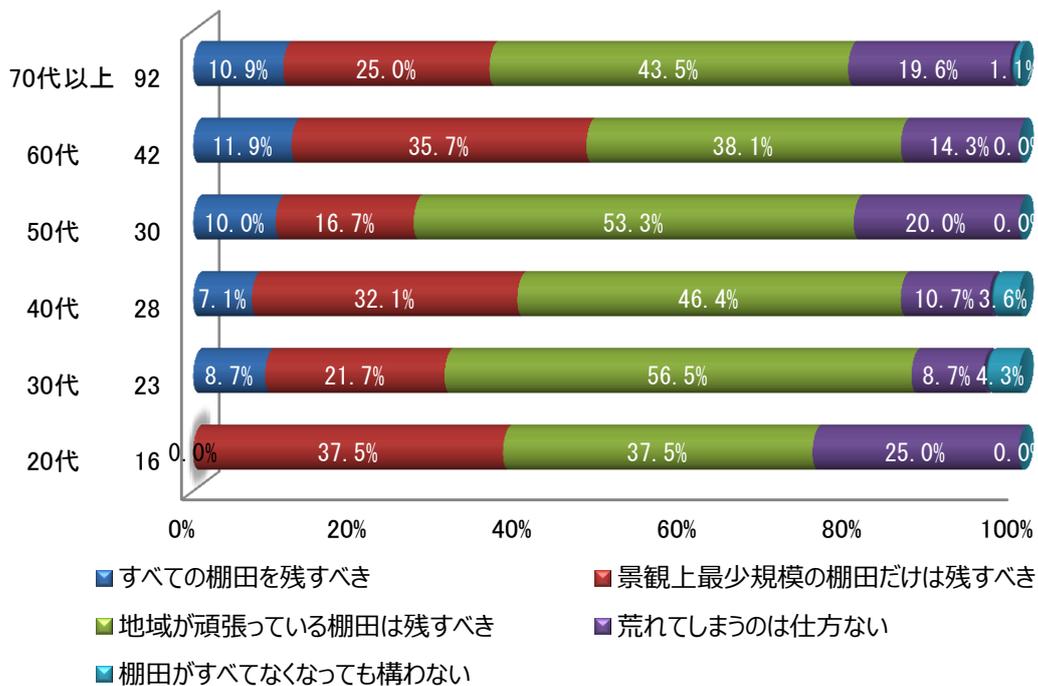
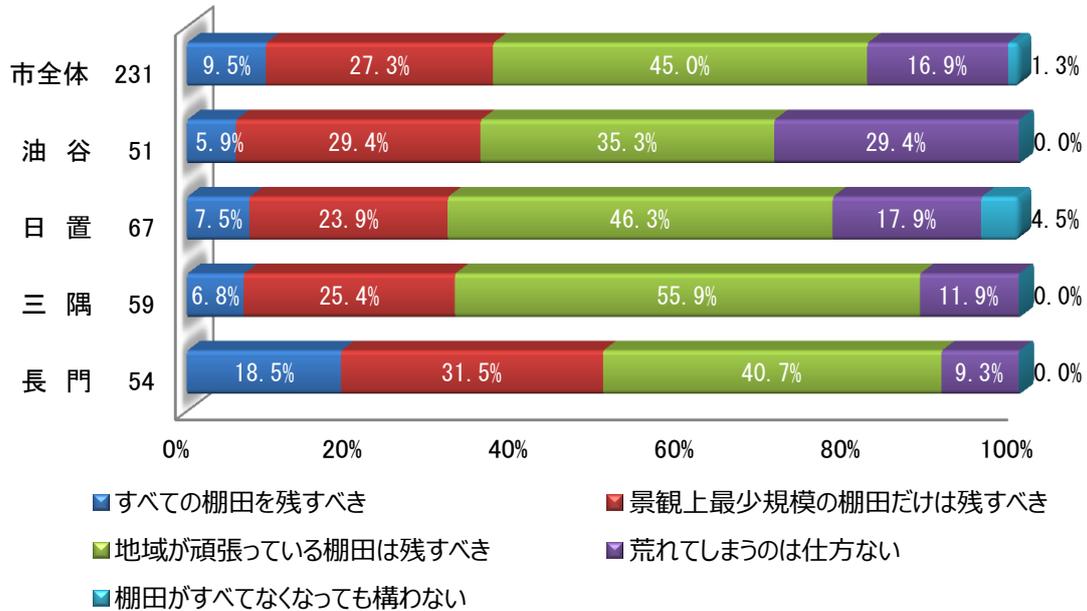
棚田でのイベント参加有無について、「参加したい」と回答した割合が33.3%、「参加したくない」と回答した割合が66.7%であった。

60代以上の約7割の方が「参加したくない」と回答されており、体力的な事由により回答したものと推察される。



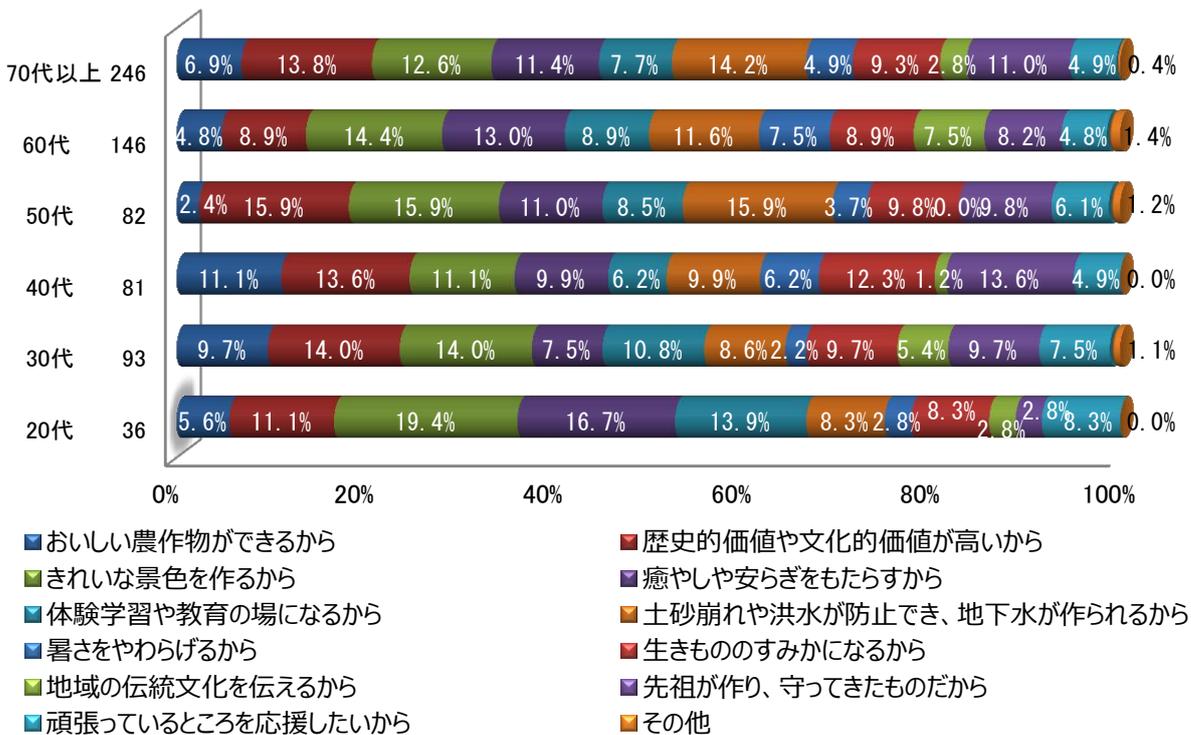
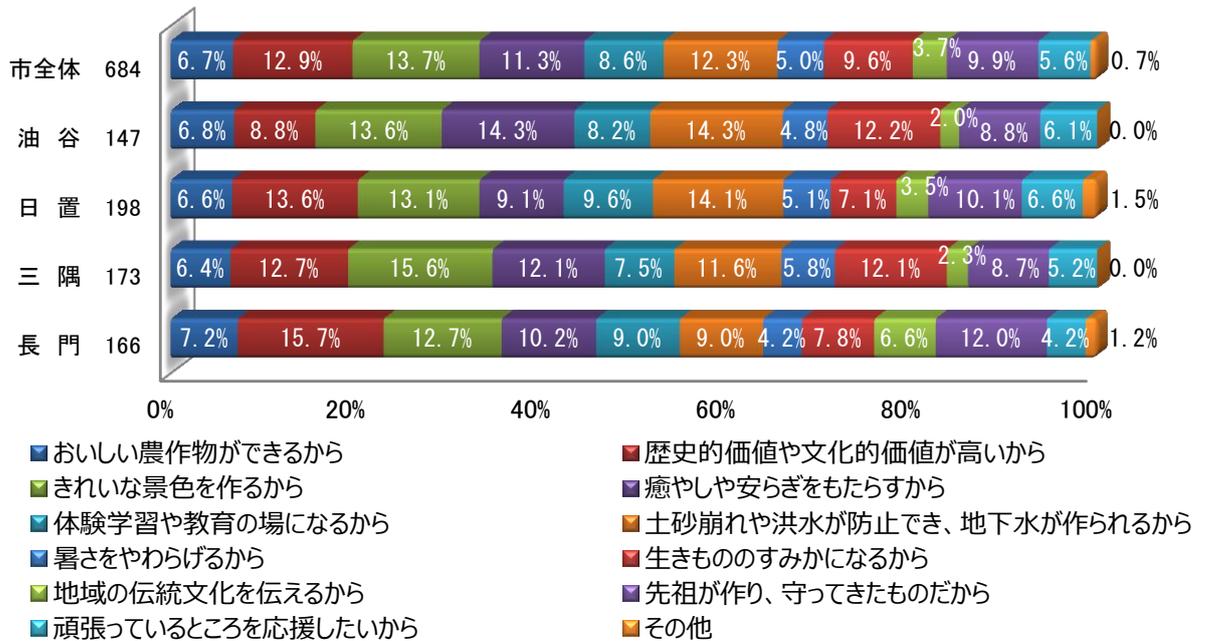
問 10 棚田を将来に残していきたいと思いますか。該当する選択肢を1つ選択してください。

棚田を将来に残していきたいかについて、回答した割合をみると「現在、耕作されているすべての棚田を残すべき」(9.5%)、「美しい景観を維持するための最少規模の棚田だけは残すべき」(27.3%)、「地域で守ろうと頑張っている棚田は残すべき」(45.0%)であり、棚田を残したいと回答した方が全体の8割以上を占めていた。



問 11 問 10 で「1」「2」「3」と回答した方にお聞きします。なぜそう思いますか。該当する選択肢を全て選択してください。

棚田を残したいと回答した方で、その理由について、「農地や農作物などがきれいな景色を作るから」と回答した割合が 13.7%と最も高く、次いで「歴史的価値や文化的価値が高いから」(12.9%)、「棚田で農業が営まれることで土砂崩れや洪水が防止でき、地下水が作られるから」(12.3%) の順であった。

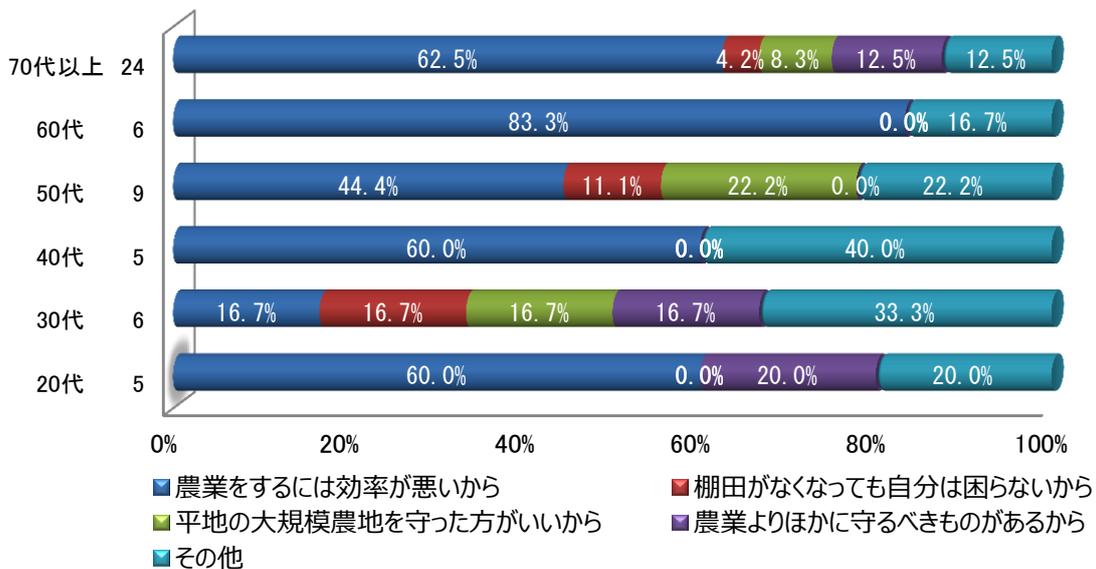
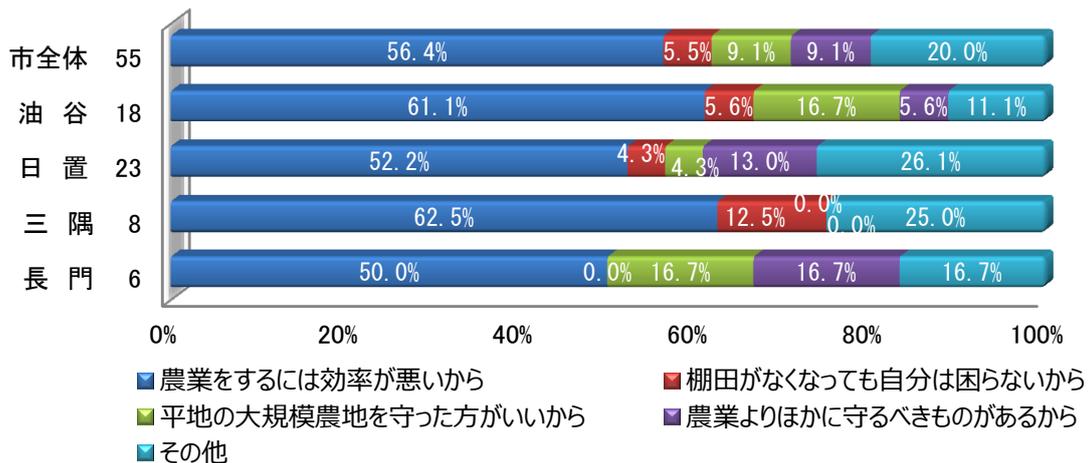


【その他（自由記載）】

- 棚田を守っている事に関連して、水路・農道の維持ができるし地域住民とのふれ合いがある
- 「観光資源」としての価値がある。元乃隅神社とセットで考えるべき
- 長門市の自慢だから
- 「私たちの食糧は日本の大地から」の国の方針、行政の姿勢をはっきりもって進めてほしい

問 12 問 10で「4」「5」と回答した方にお聞きします。なぜそう思いますか。該当する選択肢を全て選択してください。

「残ってほしいと思うが、荒れてしまうのは仕方ない」又は「棚田がすべてなくなっても構わない」と回答した方で、その理由について、「農業をするには効率が悪いから」と回答した割合が **56.4%**と最も高く、次いで「棚田を守るより、平地の大規模農地を守った方がいいから」(9.1%)、「農業よりほかに守るべきものがあるから」(9.1%)の順であった。

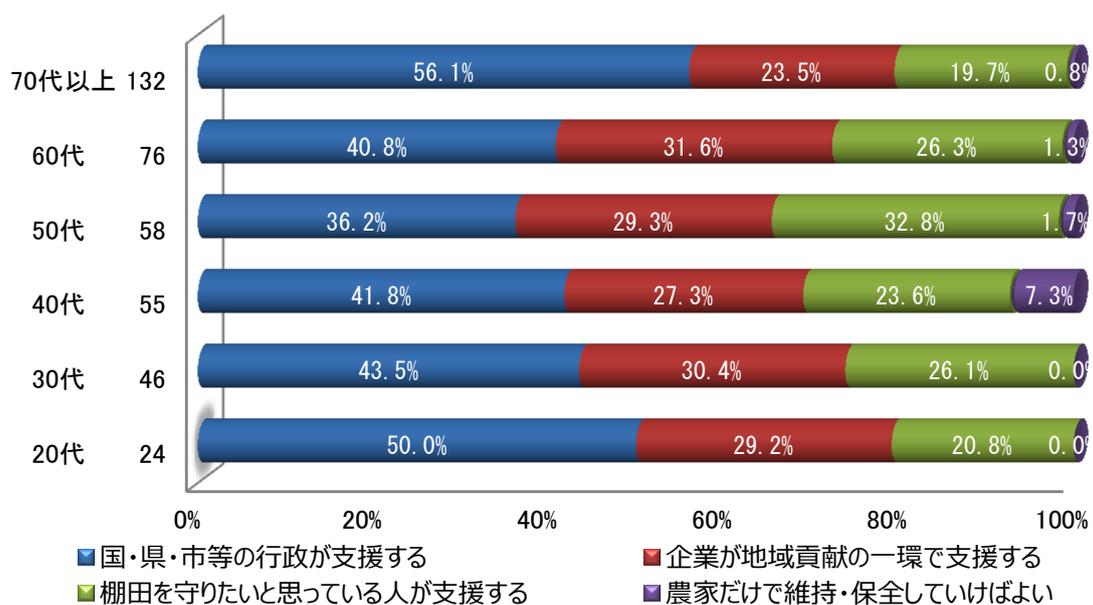
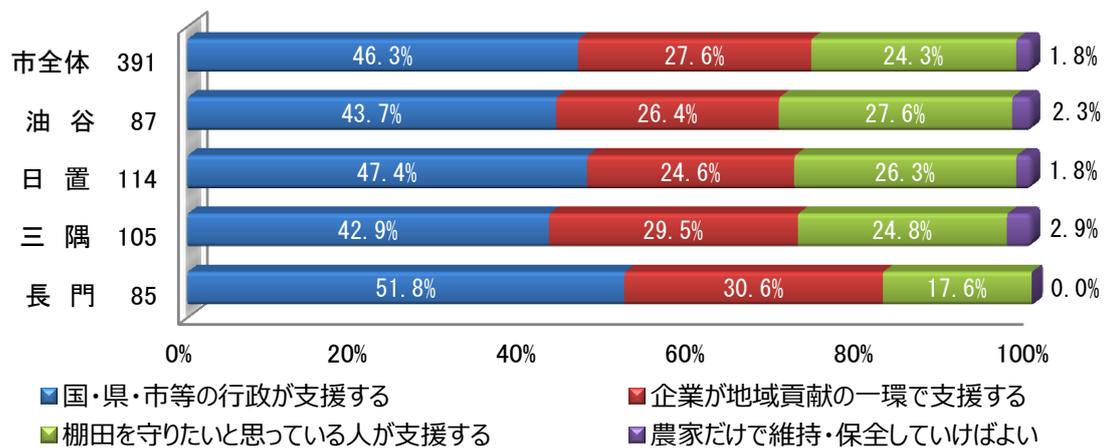


【その他（自由記載）】

- 重労働を強いる事はできないから
- 維持・管理する大変さを知っている
- 棚田を保全する担い手がない
- 現状を維持することが大変そうだから
- 残したいとは思いますが自分が協力できないから
- 若者が定住できる環境作りをした方がもっとよくなると思う

問 13 棚田を維持・保全するために誰の支援が必要だと思いますか。該当する選択肢を全て選択してください。

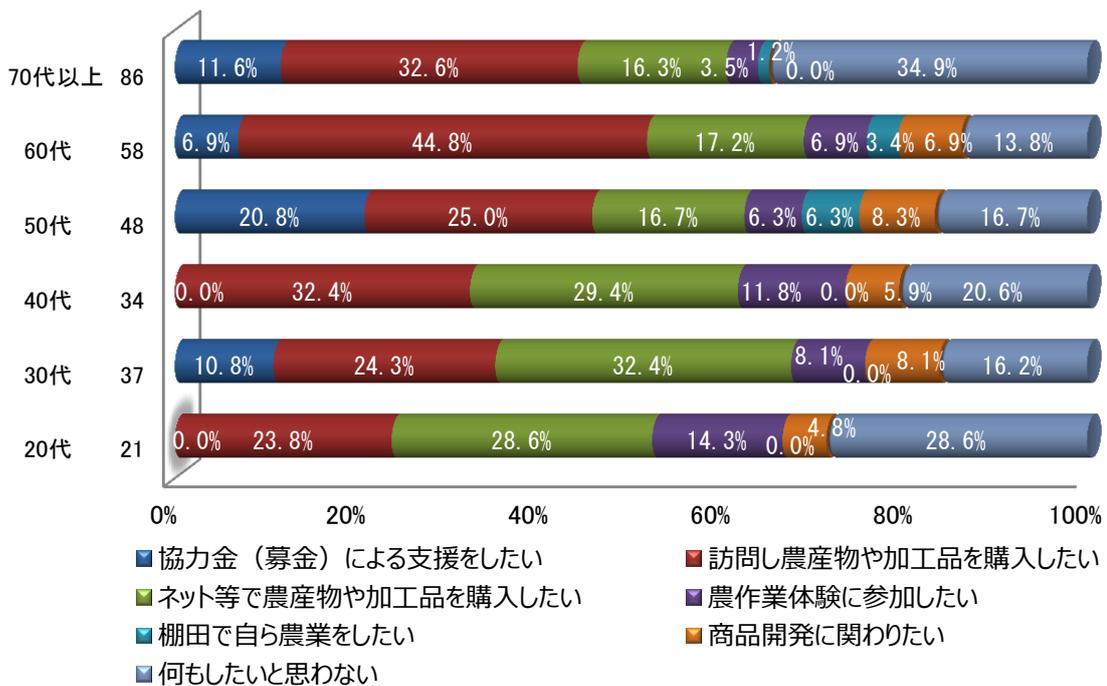
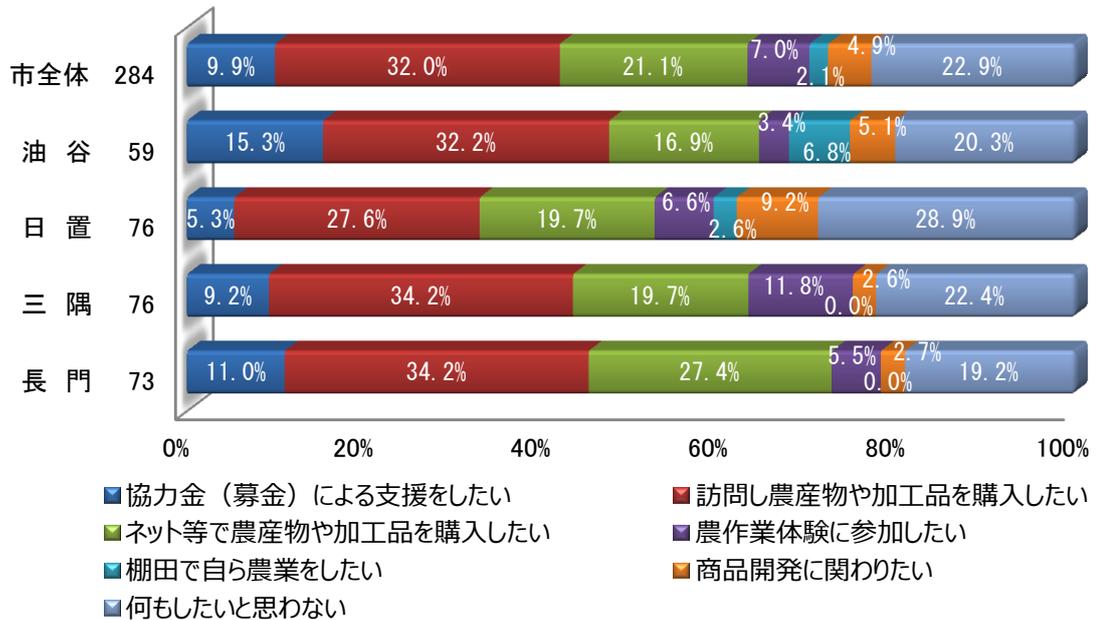
棚田を維持・保全するために誰の支援が必要と思うかについて、「国・県・市等の行政が支援する」が 46.3%と最も高く、次いで「企業が地域貢献の一環で支援する」(27.6%)、「棚田を守りたいと思っている人が支援する」(24.3%) の順であった。



問 14 棚田を維持・保全するためにあなた自身が今後何かしたいと思いますか。該当する選択肢を全て選択してください。

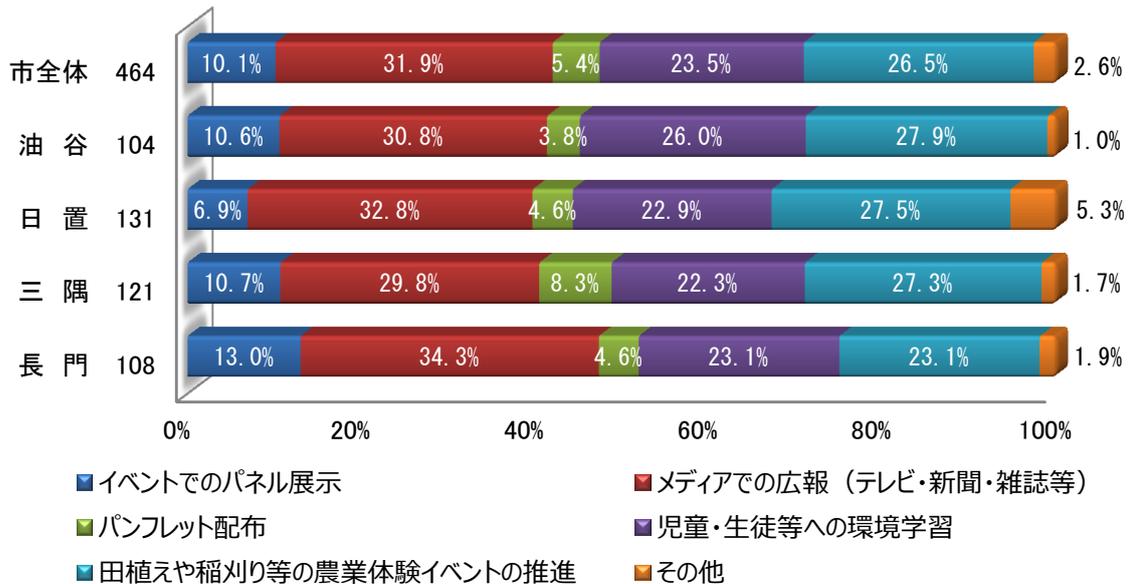
棚田を維持・保全するために今後何かしたいかについて、「棚田を訪問し、棚田米などの農産物や加工品を購入したい」との回答が 32.0%と最も高く、次いで「インターネットなどで棚田米などの農産物や加工品を購入したい」(21.1%)、「何もしたいと思わない」(22.9%)の順であった。

農産物や加工品等の購入により棚田を支援したいと回答した方が全体の5割以上を占めていた。



問 15 棚田になじみがない人に対して、棚田に興味を持ってもらえるようにするにはどのような取組みが効果的だと思いますか。該当する選択肢を全て選択してください。

棚田に興味を持ってもらえるようにするにはどのような取組みが効果的だと思うかについて、「メディアでの広報（テレビ・新聞・雑誌等）」との回答が31.9%と最も高く、次いで、「田植えや稲刈り等の農業体験イベントの推進」（26.5%）、「児童・生徒等への環境学習」（23.5%）の順であった。



【その他（自由記載）】

- 棚田はあくまで農業生産の場であり続けることでしか保全できないと思います
- イベントでの即売会
- 稲刈りをした後でみんなでおむすびを食べるとか
- なじみのない人にとって体験はよいと思うが、その場に行くお金や、時間など今の世の中では難しいと思う。ネットも見ただけあまり意味がないと思う。もっと違う事をすべきだ
- 棚田にかかわる意欲が減退しています。どれが効果的かわかりません
- 恩恵を受けるすべての人を対象にした取組みや内容を考える
- 園児でもできるイベント開催して小さい頃からもっと興味をもてるようにしたら良いと思う
- 都市部の駅や主要施設でのポスター掲示

問 16 本市における今後の棚田維持活動等に関してご意見・ご要望などありましたらご自由にご記入ください。

今後の棚田維持活動等に関する意見・要望は下表のとおり。

地域	性別	年代	意見・要望等
油谷	女性	40代	農地を守るのに、人間だけではもはや無理だと思います。家畜を含め多様な主体で守ることも考えてみてはいかがでしょうか。また、棚田も農地も時代に合わせて作物を変えていくことで後世に残していくという考え方はいかがでしょうか。
三隅	男性	30代	まず「棚田」という言葉を知らなかったため、今回、初めてインターネットで調べた。第一次産業が衰退しているのは知っている。今後食料危機が予想される中で、「なぜ棚田が重要なのか」市民の意識改革が重要だと思う。長門市は、非常に食べ物がおいしいため棚田を含めた第一次産業に対して国や県あらゆる面からバックアップして、長門市の価値向上に努めてもらいたいと思う。「おいしい長門」を市民と行政が一体となって実現してもらいたい。
日置	男性	40代	棚田周辺の道路の整備が必要だと思う。棚田を使ったイベントの開催（相撲大会やバレー大会等）をしてほしい。新しい棚田の管理方法を考案し、もっと管理を容易にする。棚田で米以外のものを生産できると面白い。
油谷	男性	70代以上	イベントでのパネル（写真）展示は大変有効である。
三隅	男性	70代以上	私は U ターン組で先祖の田畑を守るのに努力していますが 80 才台になり、健康維持の為畑 200 坪程度作っています。（市場に野菜出荷中）しかし棚田を維持して行くには数人では無理です（経済的にも）。観光に生かせるものなら良いですが行政の力が絶対と思います。
油谷	女性	70代以上	本気で棚田を維持したいと考えている地域には、行政として支援する必要がある。
日置	女性	60代	中山間直接支払制度等を活用してかろうじて棚田の耕作を続けていますが、事務手続きがやっかいで高齢者にはやっかいだとの声を聞きます。定年退職後に中山間直払協定で農業・事務処理を手伝って下さる方があれば、（もちろん有償で）中山間の棚田を少しでも

			長く守っていけると思います。
長門	男性	50代	棚田維持は大切だと思うが、今は自分の生活がいつぱいなので、その為にボランティアをする余裕が自分にはない。
三隅	男性	60代	・棚田の農業収益は赤字しかないと思う。・企業の援助等を受け、観光業を進める。
油谷	女性	70代以上	高齢なり農業を続ける人がなくなり、棚田では生活が出来ない。生活を安定にするには、平地・大規模農業した方が多くの収入が出来る。
長門	男性	60代	先人が守ってきた自然に調和した財産は、残していくべきで、荒れて手が付けられなくなって、又、元に戻すのは莫大な資金と労力が必要となる。今ならまだ遅くないので完全に復元してみてもどうか？新しい物に目を向けるのも大事ですが、古い物を大事にする事（心）を忘れてはならないと思う。子供達にもこの考え方を教育すればバランスの良い（とれた）大人になれるのではと考えます。
日置	女性	60代	高齢化、人口減少と難しいですね。
油谷	男性	50代	すべての棚田を維持してゆくことは、人手・財政の面から困難に思う。景観上残すべきもの、防災上必要性を判断して残すべきもの、教育文化の面で考慮して残すものなど合理的に区別して、その上で、地元所有者と行政が協力していくことが基本と思う。
日置	男性	70代以上	棚田は残してほしいが、自分自身が高齢で、協力は難しい。
三隅	女性	60代	身近ではなく、ある方が良いとは思いますが具体的な意見はない
油谷	男性	70代以上	一定の地域のみ税金で守るべきだ。先祖の遺産として、生産性が低い農地保全を皆で守るべきと思っています。
油谷	男性	70代以上	現在休耕田となっている棚田の一部を県内大学等に農業振興の為の研究田として提供・管理をしてもらおう。県内外より多くの観光客を迎える元の隅神社・妙見山・展望公園を一带化したイベントの開催。もちろん棚田保全の為の持続可能なもの。企業の参画が必要ではないだろうか。

油谷	女性	50代	昨年「棚田サミット」が開催されたそうですが、案外地元人は知らないんじゃないですか。油谷に住んでますが、棚田サミットに限らず、清掃活動を含めていろいろなイベントが近くで行われても地元人は知らない事が多いように思います。田んぼだけでなく地域の道路維持にも関心を持ってほしい(竹や草が道路傍に出ているところが多い)。
三隅	女性	50代	農業だけでは、今の時代やって行けず、自営の方と両方で、と言う所も、今現在活動しておられるのが現状です。やはり、国・県・市等の支援があつてできるのではないかと思います。これからの時代は、お互いが助け合う時代と思います。皆食べるものがなくなる時が来るとも言われています。こうした農家さんたちの助けが、これから必要となる事と思います。支援が必要な事と思います。
日置	男性	70代以上	機械代が高いし、労働もきついし、生産性が悪い。
三隅	男性	60代	棚田の維持と共に普通の農地が荒れてきています。ほ場整備したりっぱな田が荒れています。こちらの手当も必要ですね。
日置	男性	40代	税金を無駄に使わない事
三隅	女性	70代以上	一度もみた事有りません。テレビでみたこと、素晴らしい景観だと思いました。農作業大変だと思いますが、地区の宝だと思えます。出来るだけ残してほしいと思えます。
三隅	男性	50代	税金を使ってやる事ではないと思う。費用対効果を考えて下さい。
長門	男性	60代	農業人口が減少しており、個人がやるのは難しい状況になっている。スポンサーとして、国や県・市が本腰を入れてほしい。若者に体験させて、従事者を増加するようすべきだと思います。
三隅	女性	70代以上	高齢化、財力、時間等、いろいろ手間がかかるが、景色としては癒されます。
日置	女性	70代以上	加齢のため思い通りにならないのが残念ですが応援したい気持は大です。頑張ってください。
長門	女性	30代	そもそも棚田について考えたこともなかったので、意見も何もありません・・・。今まで大事に守られてき

			たものをダメにしてしまうのは心苦しい気もしますが、時代にあわせていけないことも多いと思います。経営が厳しいと続けていけないし、私のような関心のない人を棚田の維持保全にひきこむのは難しいと思います。
日置	男性	60代	本市の棚田は、日本の棚田百選に選ばれるなど観光的有名であり、行政で大事に扱ってほしい。
油谷	男性	30代	油谷の棚田の風景が大好きです。維持活動について出来る範囲で協力していこうと思います。
油谷	女性	60代	棚田を維持、管理することは、大型機械が入らないので労力を要するので、高齢化すると人手が足りないので、大変だと思います。
日置	男性	60代	サミットを開催しましたよね。単なるパフォーマンスのように思えます。棚田とはいえ個人の資産です。
日置	女性	60代	たとえば、お金などで棚田維持活動に協力したとして何かメリットがありますか。
長門	男性	60代	最少規模の棚田に集中保全し、他は柑橘類の植樹や花木の群植等による観光美観地区化を図る。元乃隅稻荷神社を見習う。
油谷	男性	70代以上	農林行政に本気でとり組まれよ。
長門	女性	70代以上	棚田は残すべき遺産です。一部の人々の努力にまかすだけでなく市民一人一人が考えて守るべきものです。もっと、もっと、協力できることがあるはずです。
日置	女性	70代以上	棚田保有者ですが求める方に無償でゆずりたいと思います。
油谷	女性	60代	現在、本市において棚田維持活動をしている事が、見えてこない。長門市の本気度が見えない。
日置	女性	30代	他のことにも、もっと活動してほしい。市の利益になる事を話し合いしてほしい。このままでは長門市には特に魅力はなく、若い人はどんどん出ていき、高齢化は進むばかりだと思う。
三隅	女性	40代	農業未経験者（家業継承予定者）、農業従事希望者に農業と経営をつなぐ道筋を作るために農業経験者のノウハウを全て学べる学校（地域）を作してほしい。
長門	女性	70代以上	以前に雲仙を旅行した折、きれいな棚田の風景が今も頭に残っています。長門をおとずれた人が、いつまで

			も、心に残る、そのひとつになればと思います。
三隅	男性	60代	棚田だけでなく多くの農耕地が高齢化の波にのまれ、耕作放棄地がますます増えています。棚田のみに限定するのではなく、すべてを考慮して対策を取るべきではないでしょうか？
日置	男性	50代	景観のよい場所、見かけのよい場所の棚田には力を入れてアピールし、注目され保護活動が活発化している。景観がさほどよくない山間部の棚田は（棚田に限らないが）見向きもされず、荒れ放題になっている。棚田百選もいいが、普通の山間地域の棚田、農地の維持管理にも目を向けて欲しい。
油谷	女性	70代以上	若い人たちに、もっと棚田について関心を持ってもらうこと。棚田について歴史を含め大切な役目をしていると・・・。
油谷	女性	70代以上	田植えや稲刈り体験などのイベントに参加した人には、参加回数に応じて、お米をプレゼントするなりして、農家への理解（楽しさ、厳しさ、やりがい等）を感じて頂き、移住して農家をやりたいと思う人材が作れるかもしれない。私は棚田のすぐ近くで生まれ育ちましたよ。
長門	女性	30代	棚田の美しい景色を残したい。棚田だけではないが、一次産業でしっかり生活できるように支援していくことも必要だと思う。（税金を減らすとか）決してボランティアでは守れないと思います。
三隅	男性	50代	下関の彦島の2年前くらいに残念ながら店を閉めた米屋さんで長門の棚田米のポスターを貼って営業されてました。下関や北九州など近隣の地域へのPR活動に、もっと力を入れていけば良いのでは。
三隅	男性	40代	使用していない棚田があれば、できれば無料または年会費2,000円くらいで提供していただければ、農作業してみたいと思います。
日置	男性	50代	私は4月から長門市に来た者です。棚田は長門の財産だと思います。一度休耕田になると、復帰するのは大変だと思います。今こそ、行政が積極的なアピールを！
油谷	女性	70代以上	今行われているか知りませんが輪島市のようにオーナー制にしたらどうでしょうか。

油谷	男性	70 代以上	油谷地区の特別な農地だから国市等が何か特別な景観維持法を作って、守るべきだと考えます。又、別の作物の研究もすべきと思います。
油谷	男性	50 代	棚田を維持したい人を行政が声をかけて集めて、グループを作って欲しい。グループと行政が一体となって、棚田で生産される農作物に地域商標を取得する。要件はグループが検討し、行政が後押し。該当する農産物をふるさと納税の返礼品としてアピールする。固定カメラで棚田の様子を実継して、タイムラプス動画として、関連する HP にてアピール。補助金を出して、棚田維持のアイデア募集して、コンテストを行う。コンテストの様子等も中継、一般公開する。
長門	女性	70 代以上	そもそも市民が棚田の有用性について知らないことが多い。知る機会がない？ 乏しい？ 知ろうとする動機づけがない。
日置	女性	70 代以上	水田のみならず、棚田で栽培できる多様な作物に取り組む。農家のみならず、非農家でも取り組めるもの・ことを考える。市民の中で農林業や棚田の問題を共に考える場も必要。
長門	男性	70 代以上	高齢化による管理不可能が現状の一つである。行政からの計画的な支援が今後の棚田の姿を作るのではなかろうか。
長門	女性	40 代	棚田周辺の観光スポットとセットにしてツアーを提案する等のことは既にされているかもしれませんが、情報は広まっていません。SNS を使用し、実際の田植えから精米するまで美しい景色と共に全国に発信されてはいかがですか。
日置	男性	40 代	平地の田んぼでも、高齢化などで農業に従事できない方が増えていると思うので、棚田では特に難しいでしょうが、行政や出来る事を最大限利用して、昔からあるものを守ってほしいです。農業は大変ですが、得るものはとても多いです。
油谷	女性	70 代以上	農業従事者の高齢化で、棚田の耕作も困難となっているし、また後継者いないのが現状である。現在のすべての棚田を維持することはできないので、特定の地域を指定して、行政で棚田の保持に力を入れるしかないと思う。

日置	男性	70 代以上	棚田の景観区域を作る（将来の展望を期待する）。椿の里、栗の里、桜の里集落で取り組む。労働の軽減（石垣等の修理）。重機機械を安くかす。
三隅	男性	70 代以上	田植時 etc 大変だろうから、なるべく平地にした方が効率が良い。
三隅	女性	70 代以上	写真等で素晴らしい景観を見ましたが、後継者が居ないと維持は難しいと思いますが、これからは移住とかで維持して行けたらと思います。がんばってほしいです。棚田米をブランド化したら良いと思います。現にしておられる農家の方も有るのでは？
長門	女性	70 代以上	昔棚田を作られた方の為にも残したら良い。
日置	女性	20 代	市内に住んでいる市民が集まれるイベントなどをしてほしい。そしたら子供と一緒に参加してみたい（小さい子から年配までできる）
長門	男性	30 代	農家にとっては「生活のための棚田」であり、「観光業のための棚田」ではないのが現状。それだと、荒れてもなくなっても仕方ない。（生産効率の悪さなどの面から）「観光客のための棚田」「観光資源としての棚田」にするための仕組みを行政で作し、「棚田を維持するメリット」を農家に与えることが「観光資源としての棚田」を守ることに繋がると思う。
油谷	女性	50 代	棚田だけでなく農業が衰退し、後継者が居ないのに、それを守る事もできない。棚田だけでなくもっといろいろな面からも考えるべき。
三隅	女性	60 代	古来より残る素晴らしい棚田は、美しい景観はもとより美味しいと誇れる米を作る大切な文化でもあると思います。長門市を日本全国に知って頂く事の 1 つでもあると思いますので、市や農協、市民の皆が続けやすい環境に手助けするべきと思います。
長門	男性	30 代	問 15 に関して、優先順位や流れがあると思おうので、例えばイベントを行うにしても、「目につく」→「興味をもつ」→「深く知る」のどの段階に効くのか、どの段階が今重要なのかを議論し進めていってほしい。そしてそれには一貫性も必要だと思うので、どのように棚田があってほしいのか、コンセプトや目標 Vision などが明確にして取り組んでいくと強い推進に繋がるのではと思います。

Ⅲ 調査票

棚田に関する住民意識調査

～調査へのご協力のお願い～

令和2年4月吉日
長門市農林水産課

市民の皆様には、平素より市政にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

長門市では、令和元年10月に第25回全国棚田（千枚田）サミットが中国地方で初めて開催され、市が誇る自然資源の魅力が大いに発信したところです。

しかしながら、先人たちが多大な労力と長い年月をかけて築き上げてきた、かけがえのない財産である棚田が、少子高齢化や担い手不足などにより、全国的にも荒廃の危機に直面しています。

そのような背景から、本市と致しましては、棚田地域の将来像や目指すべき姿、そして地域課題の解決に向けた取組みの方向性等を鋭意検討しているところです。

つきましては、長門市が進むべき方向について市民の皆様のお考えをお聞きし、今後の施策に反映させていくため、この度、住民意識調査を実施することと致しました。

みなさまの棚田に対する率直なご意見をお聞きしたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

※棚田とは、傾斜が1/20以上の段々状の田畑のことを言います。

ご回答にあたってのお願い事項

- ◇この調査は、長門市在住の20歳以上の方の中から無作為に500名を抽出し、実施させていただきます。
- ◇封筒の宛名のご本人様にご回答いただきますようお願いいたします。
- ◇回答に当たっては、特に記載のない場合は、該当する項目を選んで、番号に○印をつけてください。
- ◇回答されたアンケート用紙は5月15日（金）までに同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、ポストに投函してください。

お問い合わせ先

〒759-4192 長門市東深川1339番地2

長門市 経済観光部 農林水産課 農業振興班

TEL：23-1139 FAX：22-8458

問1 あなたのお住まいの地域区分をお聞きします。あなたは、現在、どの地域にお住まいですか。該当する選択肢を1つ選択してください。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1 旧長門市 | 2 旧三隅町 | 3 旧日置町 | 4 旧油谷町 |
|--------|--------|--------|--------|

問2 あなたの性別をお聞きします。該当する選択肢を1つ選択してください。

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問3 あなたの年代をお聞きします。該当する選択肢を1つ選択してください。

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1 20～29歳 | 2 30～39歳 | 3 40～49歳 |
| 4 50～59歳 | 5 60～69歳 | 6 70歳以上 |

問4 あなたの主たる職業をお聞きします。該当する選択肢を1つ選択してください。

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 農業従事者（棚田地域） | 2 農業従事者（左記1以外の地域） |
| 3 自営業 | 4 会社員・団体職員・公務員 |
| 5 アルバイト・パート | 6 学生 |
| 7 無職 | 8 その他 |

問5 段々状の田畑のことを「棚田」と呼ぶことを知っていますか。該当する選択肢を1つ選択してください。

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問6 棚田は傾斜が急で田んぼ1枚1枚が小さいため農作業が大変で、さらに、農家の高齢化や過疎化により農業が続けられず、荒れつつあることを知っていますか。該当する選択肢を1つ選択してください。

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問7 棚田には食料を生産すること以外に、洪水の防止や自然環境の保全、良好な景観の形成などのさまざまな役割（多面的機能）があることを知っていますか。該当する選択肢を1つ選択してください。

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問8 棚田の有するさまざまな役割（多面的機能）の中で、特に重要だと思う役割は何だと思えますか。該当する選択肢を3つ選択してください。

- | |
|--------------------------------|
| 1 雨水を一時的に貯めて洪水を防ぐ |
| 2 日々の作業を通じて土砂崩れを防ぐ |
| 3 作物や水田に貯められた水が土砂の流出を防ぐ |
| 4 水田から浸透する水が地下水をつくり、川の流れを安定させる |
| 5 水田が周りの空気を冷やし暑さをやわらげる |
| 6 田畑や水路が多様な生きもののすみかになる |
| 7 農地や農作物などが美しい景観を保全する |
| 8 五穀豊穰のお祭りなど地域の伝統文化を伝える |
| 9 澄んだ空気や水、四季の変化などが癒やしや安らぎをもたらす |
| 10 農業や自然とのふれあいを通じて体験学習や教育の場になる |
| 11 医療・介護・福祉の場となる |

問9 棚田での農業体験、生きもの観察等多面的機能を体感できるイベントがあれば参加したいですか。該当する選択肢を1つ選択してください。

- | | |
|---------|-----------|
| 1 参加したい | 2 参加したくない |
|---------|-----------|

問10 棚田を将来に残していきたいと思えますか。該当する選択肢を1つ選択してください。

- | |
|-------------------------------|
| 1 現在、耕作されているすべての棚田を残すべき |
| 2 美しい景観を維持するための最少規模の棚田だけは残すべき |
| 3 地域で守ろうと頑張っている棚田は残すべき |
| 4 残っていてほしいと思うが、荒れてしまうのは仕方ない |
| 5 棚田がすべてなくなっても構わない |

（裏面にも記入をお願いします。）

